

阪南市デマンドタクシー（チョイソコ阪南）実証実験結果について

1. 概要

課題

新型コロナウイルスの影響

バス利用客の減少

新たな生活様式への対応

移動ニーズの変化

上記課題への対応にあたり、地方創生臨時交付金を活用し、阪南市デマンドタクシー実証実験を実施。

事業概要

- ①実施期間 令和5年1月5日～2月28日
- ②実施区域 東鳥取地区（一部）、尾崎地区（一部）
- ③運賃 1乗車200円（未就学児無料）
- ④停留所 コミュニティバスバス停に市内スーパー及び医療機関の5駅を臨時で追加
- ⑤事業費 6,905千円

実証実験の周知については、東鳥取地区及び尾崎地区に対しそれぞれに2回実施。

実験結果

- ①会員登録者数 391人（内訳 郵送登録 270人、ネット登録 121人）
- ②延べ利用者数 363人（内訳 男 81人、女 273人、未就学時 8人、その他 1人）
- ③利用した人 102人（内訳 男 28人、女 74人）
- ④予約成立件数 334件
- ⑤平均乗車人数 1.34人（内訳 1月 1.3人 2月 1.38人）
- ⑥申し込み方法 電話受付 73.4% ネット受付 26.6%

3. 満足度

満足度 ※別冊16p～23p

- ・日常生活の満足度について、実証実験の期間中は「大変満足」が7%増加している。しかし半数は「普通」の回答にとどまっている。

デマンドタクシーについて（少し不満、大変不満の自由記述）

- ・「少し不満」、「大変不満」と回答した理由（自由記述）については、「思っていたより不便」や「行きたい行先が無い」など、ドアtoドアでの利用などを要望する意見が複数あった。
- ・今回対象とならなかった地域の住民からも実施を希望する意見があった。

費用負担について ※別冊24p～25p

- ・全体の約60%が200円が妥当であるとの回答で、次に100円が約16%となっている。全体的に低価格な運賃を求められている一方で500円の意見も約10%あった。
- ・月額での負担額については月額1,000円～3,000円が半数以上となっている。一方で、約25%が5,000円以上の負担が妥当であると回答した。

2. 利用者アンケート

※アンケート調査結果については別冊資料を参照

アンケート結果

- ①対象者 登録会員及び市内アンケート用紙設置場所（運行地域へのポスティング）
- ②回収枚数 347枚

回答者属性 ※別冊7p～11p

- ・会員からの回答が全体の約8割。
- ・実証実験の認知度については約7割となっている。
- ・回答者の約66%は65歳以上となっており、75歳以上の後期高齢者の割合は約39%。
- ・介護認定を受けている人は約10%。また57%は35分以上の歩行が可能。全体では約83%が20分程度なら歩行が可能。
- ・約86%は他の移動手段を持っている。

自宅周辺環境 ※別冊12p～13p

- ・自宅から200m以内に最寄りバス停があるとの回答が半数を占めるものの、500m以上あるとの回答も1/4を占めており、バスでカバーできていないエリアが存在している。

利用実態 ※別冊14p～15p

- ・デマンドタクシーを利用した人の約43%が「買い物」となり次に「通院・検診」が約33%、続いて「飲食・娯楽」が約12%となっている。
- ・回答者の約65%が「利用していない」の回答となっている。一部ではよく利用されている利用者もいるが、実験期間中に数回程度の利用にとどまっている。

4. まとめ（課題と今後の施策展開について）

運行の持続性
（収支）

タクシーとの
差別化

公共性

平均乗車人数の
低さ

バスとの
役割分担

高齢者などの
買い物弱者対策

福祉施策との連携

- ①現在自家用車を生活の必需品として使っている高齢者においては、免許返納などの理由により移動手段がなくなること、今後地域内交通に対する需要は増加していく。
- ②今後コミュニティバスの拡大や現行以上の財政負担については、持続可能性の観点からも困難。
- ③1人当たりのコストを下げ、ランニング費用を乗車賃で賄うには、利用件数や平均乗車人数を増やすことができるコースやエリア設定について検討が必要となる。
- ④各分野の課題を解決するため、公民連携により民間企業等の技術やノウハウなどを活用し行政課題の解決に向けた取り組みが必要となる。
- ⑤周知が不十分であったため、利用率が上がらなかった。今後実施する際には高水準の利用率が確保できるよう実施手法についても検討が必要となる。

公共交通のみにとどまらず、各課題を解決するため
民間活力を活用した移動支援施策の展開に向けて
調査研究を行う。